

# あいち農産物生産流通レポート

平成25年4月号

情報サロン		
・和食を世界遺産に！	(園芸農産課) .....	1
地域トピックス		
・東三河地域の花の生産動向について	(東三河農林水産事務所) .....	3
東日本情報		
・東京ビッグサイトで「健康博覧会」が開催されました	(東京事務所) .....	4
西日本情報		
・2012年の農業総合試験場の10大成果	(農業総合試験場) .....	6
フラワーページ		
・花き仲卸業界の現状と課題	(株)大森花卉 代表取締役社長 渡邊武彦) .....	8
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) .....		10
・名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し .....		11
花 き		
・切花・鉢花の4月の見通し(県内市場) .....		23
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年1月) .....		27
関連指数	.....	28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 和食を世界遺産に！

### 和食が世界遺産になるかもしれません！

日本には、多種多様な食材や、一汁三菜といった栄養バランスの取れた食事構成、年中行事や儀礼との結びつきなどの特徴を持つ素晴らしい日本食文化があり、日本人の長寿の秘訣として、海外からも高い評価を受けています。

一方で、世界では、自国の料理をユネスコの無形文化遺産として登録する動きがあり、フランスの美食術、地中海料理、トルコのケシケキとメキシコの伝統料理が既に登録されています。

そこで、日本でも、平成24年3月に日本食文化をユネスコの無形文化遺産として登録するよう提案がされました。今後、ユネスコの審査を経て、平成25年12月に登録の可否が決定される予定です。

### 日本料理、日本食、和食とは？

広義の日本料理では、日本で独自の発達を遂げた洋食の一部や中華料理も日本料理（日本食）として扱われます。今回は、伝統的な食文化としての「和食」が世界遺産に提案されています。

日本料理の正式な形式は、お膳で1品ずついただく「本膳料理」です。しかし、大正時代にちゃぶ台が普及すると、お膳が廃れてしまいました。現在の一般的な食事の構成は、一汁三菜と言い、ご飯、汁物、おかず3品（主菜1品、副菜2品）に香の物（漬物）という組み合わせです（懐具合で一汁一菜となったりします）。

### 日本の食の問題

世界に日本食ブームを巻き起こした日本食のヘルシーなイメージに反し、日本においては、食の洋風化に伴いタンパク質、動物性の脂質、さらに塩分の過剰摂取、野菜摂取量の低下が問題となり、生活習慣病やがんの原因となっています。例えば、食の洋風化が他県より進んだ沖縄県は、かつては日本一を誇った長寿県でしたが、若い世代で心臓疾患が増加するなど、急速に寿命が短くなっています。



私たちも、生活習慣病にならないようにするために、今一度食生活を見直し、米を主食とする日本食を中心に、脂質や塩分の摂取量を減らし、野菜を沢山食べて、適度な運動を心がけるなど、あたりまえのことをやってみましょう。

また、日本食は、国内の農業や食品工業と密接な関わりがあります。そのため、安全・安心で新鮮な国産の食品を選んで購入するように努めるなど、日本の農業や食品工業を守っていくという姿勢も必要ではないでしょうか。



参考：農林水産省「日本食文化の世界遺産化プロジェクト」(<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/>)

## 東三河地域の花の生産動向について

### 「産出額について」

東三河地域は県下の約70%（平成23年産）を占める一大花き生産地域であります。輪ぎく214億円（平成23年産）をトップにスプレーぎく、ばら、アルストロメリア等の切花類が全体の8割を占め、あじさい、シクラメン等の鉢花類、ファレノプシス等の洋らん類が続いています。昨今では、消費の減退、輸入切花の増加、燃料価格の高騰などにより減少傾向にあり、平成23年産では、平成10年のピーク時に比べて66%（約373億円）までに落ち込んでいます。

### 「産地の取組について」

JA愛知みなみでは、コストダウンや省力化の取組が進められているので紹介します。秋ぎくにおいて燃料高騰対策と比較的低温でも生産可能なボリューム感の「精興の誠」

「神馬」といった品種が全体の8～9割近く作付けされるようになり、夏秋ぎくでは、労力軽減対策として、無側枝性品種の「精の一世」も普及してきています。

また、平成8年度に生産者の出荷調整作業の軽減のため導入された、ばら受け集出荷施設「マムポート」へ、強い農業づくり交付金で、平成24年度に自動選花機（花ロボ）が、新たに3台導入されて（計18台）、農家の生産負担の軽減の一役を担っています。



マムポート内の花ロボ

一方、平成24年度補正予算により、燃油使用量15%以上削減を目標に「燃油価格高騰緊急対策」が始まり、管内のJAなどを通じてヒートポンプの導入支援や燃油価格の補てん等、農家経営の安定化が取り組まれつつあります。

H23ヒートポンプ設置実面積（単位：千㎡）

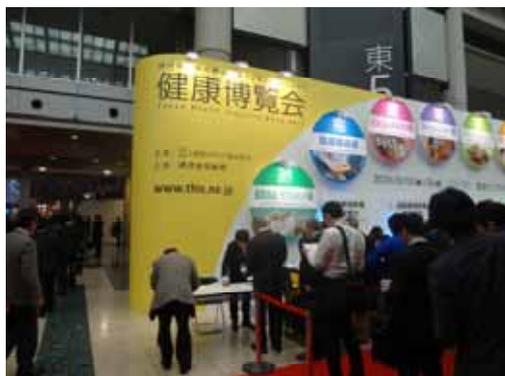
表に示すとおり東三河地域における花きのヒートポンプ設置実面積は、県全体の76.6%を示すほど普及しています。

品名	ガラス室	ハウス	計
きく	1	11	12
ばら	153	116	69
鉢物	44	29	73
その他切花	4	—	4

栽培技術改善等の取組として、輪ぎくの冬場におけるボリュームアップのため、二酸化炭素施用技術の確立や産地間競争を勝ち抜くため、物日需要に向けての栽培方法にも積極的に取り組んでいます。

## 東京ビッグサイトで「健康博覧会」 が開催されました。

3月13日（水）から15日（金）の3日間、東京ビッグサイトにおいて、「健康博覧会」と題して、健康食品等の展示会が開催されましたので紹介します。



「健康博覧会」会場

### 開催概要

高齢化社会の進展、生活習慣病の増加、医療費削減などを背景に生活者の健康に対するニーズは、年々高まりを見せ、健康食品市場は、今後も大きな成長性を内包した市場と言えます。この博覧会は、この年々高まるニーズに対応する健康食品・サプリメントの開発・販路拡大のための専門展となっています。

### 出展ブースについて

本県からの出展企業ブースや、野菜、果物などの機能性食品素材やそれらを使用した加工食品を展示しているブースを中心に取材しました。

### 愛知県からの主な出展企業

（株）角谷文治郎商店（碧南市）

三州三河みりん、有機三州味噌などを紹介。角谷社長に話を伺うと、「様々な展示会に出展することで（前週も幕張メッセで行われたフードテックに出展）展示会毎に、来場者の職種（ジャンル）が違うので、新規のお客様を開拓できる良い機会となっている。今回は、健康に関心が高い人が多く来場していることから『みりん』が体によいことを中心にPRしていきたい。」とのことでした。

### 医食農連携研究会

（三遠南信クラスター推進会議、新産業クラスタープロジェクト：豊橋市）

独自の技術で国内食材にこだわり、健康、美容、長寿のニーズに応えた商品紹介、特に農の



医食農連携研究会のブース

スペシャリストが作った「食べる健康」と題して、「青じそ」を使った加工食品や「ルネッサンストマトジュース」などを紹介していました。（出展商品の詳細は、「医食農連携研究会・本県関係の主な出展商品について」を参照）



「青じそ」を使った商品

株式会社ジャテックス（名古屋市）  
青汁、ケールと抹茶などを紹介

株式会社マルキヤ（岡崎市）  
ブレンド茶、雑穀スープの紹介

広い会場に、様々な健康に関する商品が所狭しと展示され紹介されていました。特に今年は、地元の農産物を地元の加工メーカーが加工し、健康という切り口で商品化する（いわゆる健康食品の農商工連携、6次産業化）企業の出展が目立ちました。

#### 医食農連携研究会・本県関係の主な出展商品について

##### < 青じそ（大葉）を使った薬膳食品 >

薬膳最中（株式会社入河屋：豊橋市）  
青じそを練り込んだ羊羹を最中で包んだお菓子。

青じそ薬膳豆腐（株式会社寺部食品：豊川市）  
国産大豆100%使用し、一丁に「青じそ5枚」使用。大豆と青じその風味と栄養成分を生かしたお豆腐。

薬膳梅酒（関谷酒造株式会社：設楽町）  
酒粕から自家製焼酎を造り、地元の梅を使い梅酒を製造。そこに特許製法の青じそペーストを浸け込み熟成。

緑のデリシャスソース（日東醸造株式会社：碧南市）  
愛知県産小麦と伊豆大島の伝統岩塩を使った「白たまり」をベースに青じそを加えたソース。

青じそ薬膳蕎麦、細うどん（水鳥製麺：豊橋市）  
製麺100g（1人前）に蕎麦で9枚、うどんで10枚の青じそを練り込んでおり、腎機能を高め老廃物を出すデトックス効果が期待できる。

青じそソフトウインナー（和広産業株式会社：豊橋市）  
地元のブランド肉の田原ポークに豊橋産の青じそを刻み入れ、保存料、防腐剤、発色剤、着色料を使わず、安心安全にこだわる逸品。

##### < 青じそ > 豊橋温室園芸協同組合：豊橋市

豊橋の青じそ生産額日本一。安心安全への取り組みは、栽培履歴の管理、病気に強い品種による農薬使用の軽減、抜き打ちの残留チェックの徹底に努めている。

##### < トマトを使った食品 >

奇跡のトマトジュース（ルネッサンストマトセールスプロモーショングループ：設楽町）  
糖度、酸味、旨味のバランスが絶妙。リコピンによる抗酸化力について、生よりジュースのほうが3.8倍の吸収力があるというデータもある。

## 2012年の農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善に役立つ新しい品種の開発や高度な栽培技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の皆様にご理解を深めていただくため、毎年、農業総合試験場の研究成果の中から、特に優れたものや社会的関心の高いものを10大成果として選定しています。

このたび、2012年の「10大成果」を選定しましたので、紹介します。

## 1 2012年の「10大成果」

第1位	トマト黄化葉巻病の耐病性品種「アイタキ1号」を開発
第2位	臭化メチル剤を用いないキュウリ栽培マニュアルを策定
第3位	パン・中華麺に適した小麦品種「東海104号」を開発
第4位	耕作放棄地対策のための豚放牧技術を開発
第5位	ライスヌードル用米の特性解明と麺製造法を開発
第6位	農業体験農園開設の手引書を作成
第7位	堆肥施用時の温室効果ガスの排出量を評価
第8位	茶園の高圧散水によるチャノミドリヒメヨコバイの防除技術を開発
第9位	キクわい化病の蔓延防止マニュアルを策定
第10位	デンドロビウム・フォーミディブルの新品種「フォーミ愛知1号」を開発

## 2 選定方法

## (1) 選定委員

柴田 智子 公益社団法人  
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会  
消費生活アドバイザー

山内 章 名古屋大学大学院生命農学研究科 教授

吉澤 一幸 東海漬物株式会社漬物機能研究所 所長

山元 修治 日本放送協会名古屋放送局制作部 部長

山下 和巳 愛知県農業総合試験場 場長

## (2) 選定の手順

選定委員が「実用性」、「新規性」、「社会性」、「普及性」の観点から各研究成果に5段階で評価点を付け、得点の高い順に10成果を選定しました。

### 3 今年の特徴・傾向

近年、トマト栽培で問題となっていた黄化葉巻病の耐病性品種の開発が第1位に選定されました。民間企業との共同研究により、より実用的な品種が開発されたことが評価されました。

農薬の使用量を削減するためのキュウリ、茶、キクの栽培技術が選定されました。

農耕地の有効活用や都市近郊農業振興のため、豚放牧技術の開発や農業体験農園の開設に関する成果が選定されました。

### 4 公表

農業総合試験場の Web ページ (<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>) で、10大成果の詳細がご覧いただけます。

(株)大森花卉 代表取締役社長 渡邊武彦

## 「花き仲卸業界の現状と課題」

1997年以降、国内生産は減少している。しかし、市場における減少感は、国産減少分を補う程度の輸入品が増加した、実感が沸かないのが実情である。

また、バブル崩壊後失われた10年と言われ続け、嗜好品である花を扱う業界としては厳しい販売状況が続いていた。しかし、2008年には企業のギフト関係需要なども回復傾向となった。愈々これから盛り上げ年末を迎えていこうと思った矢先、9月のリーマンショックを迎えた。景気の悪化は我々業界にも大きなのしかかり、余剰仕入が本格的に見直され、それにより仲卸も細かな対応を余儀なくされ、単価安と共に経営を悪化させたのであった。

生鮮品は工業製品とは違い、天候に左右されながらの出荷となる。経費削減も難しいにもかかわらず、求められる販売価格は低く（量を販売する量販店の要望が大きくまた、小売店も一喜一憂された）厳しい市場取引が続いている。

農業を守るより、マーケットインの時代。世界基準ではまだまだ高いと言われる日本の花。マーケットから求められるのは、『良い物を安く』なのである。

このようなことから売上を維持するには、今まで以上に量を扱わなければならない。それには人の力や設備は維持発展させる必要があり、人件費や管理費の負担は限界となっている。

これが卸・仲卸の実態であろうと考察する。当然、産地様にも当てはまる。

さて、これから我々は何をすれば良いのか？嬉しいとき、悲しいとき、様々な場面で花は必要とされるもの、その価値を維持する必要がある。

今こそ我々は花の文化をしっかりと打ち出し、花に纏わる物目を継承することが重要であると考えます。新しい文化創造の形では「フラワーバレンタイン」がある。今までの花文化をしっかりと生活者が継承していれば、「フラワーバレンタイン」は考える必要すらなかったかもしれない。核家族化し、文化継承が難しくなった日本、今こそ業界一丸となり、これらの花文化が無くならないよう啓蒙していく必要がある。「温故知新」、形を変えて現代にマッチしたものにする必要もあるでしょう。

一方、昨年のフロリアードで数々の賞を総なめにした日本の優れた花たち、この花たちを再生産できるよう、花の価値をしっかりと伝えていく必要がある。

我々は売ることも大切だが、国内生産を守ることも同時にしなければいけないと考えている。それには花の価値を消費者に伝え、理解していただく必要が

ある。価格も安くではなく、良い物はそれなりに！（それに見合った価格）である。その体制を作ることや、生産者から消費者へ確りと情報が伝わる縦のサプライチェーンを如何に構築していくかにかかっている。

花の文化継承と生産維持が大切な今こそ、中間流通業者の役割は大きいと感じている。

個々には、サービス業である仲卸は、たゆまない努力が必要なことは言うまでもないが、業界の維持発展のため、今動くことが安定につながると考えている。

# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	167	132 (79%)	247	241	愛知 (79%) 静岡 (18%)
25年見通し	200	-	245	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>主な産地は西三河。生育は順調。生産者が大きくなってからの出荷を心がけているため大玉傾向。年明けから2月にかけての冷え込みで生育が遅れていたが、3月以降の気温上昇に伴い生育は進み、遅れは少々。</p> <p>入荷量は前年を上回り、価格は前年並の見込み。</p>			<p>給食・外食業界からの需要が強い。一般家庭では、レタス・ほうれんそうなどが葉物のメイン需要を占め、チンゲンサイは二の次になる傾向がある。餃子の具やキムチ漬けに利用するなど新しい食べ方の普及をおこなっている。</p> <p>春先の気温上昇に伴い、しおれ、葉の変色等品質劣化が起こりやすいため、適時出荷と品質管理をお願いしたい。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	232	84 (36%)	894	1,077	タイ (16%) 熊本 (10%) 中国 (10%)
25年見通し	250	-	940	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知からの入荷が多く、タイ、熊本、中国、これに続く。</p> <p>愛知の生育は気温上昇で、生育良好、順調な出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>さやえんどうは、春のイメージが強い商材であり、量販店にとっても4月の売り込み商材として力を入れているので、安定した出荷が求められる。</p> <p>本県産の商品価値は高く、品質的は問題がない。引き続き、安定出荷と気温の上昇による品質低下に対する徹底した品質管理に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	20年	35,108	204	198	204	208	愛知 28%
	21年	37,118	207	222	207	194	北海道 14%
	22年	33,496	256	245	261	261	鹿児島 9%
	23年	35,011	211	233	211	197	茨城 6%
	24年	32,041	232	238	244	221	
	5ヵ年平均	34,555	222	-	-	-	
	25年見通し	34,900	200	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と土ものの北海道が中心。葉もの、果菜は低温の影響で前年より生育遅れ、数量が不足しており高単価。土ものはばれいしょ、たまねぎ等が好調。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	20年	2,390	80	80	88	73	愛知 41%
	21年	2,120	102	122	100	87	千葉 37%
	22年	2,001	121	129	134	106	鹿児島 10%
	23年	2,311	76	88	82	65	長崎 9%
	24年	1,771	133	197	138	91	
	5ヵ年平均	2,119	100	119	106	83	
	25年見通し	2,000	90	100	90	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、千葉が中心で次いで長崎、鹿児島。前半は生育遅れのため入荷量は少ないが中旬以降は出てくるため増加傾向。下旬にピークを迎える。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。							
にんじん	20年	2,350	209	209	236	187	徳島 91%
	21年	2,172	140	133	145	141	鹿児島 4%
	22年	2,115	181	138	187	218	中国 2%
	23年	2,351	198	228	206	172	熊本 1%
	24年	1,763	195	183	219	179	
	5ヵ年平均	2,150	185	180	199	179	
	25年見通し	2,100	180	190	180	180	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は徳島中心の春にんじん。愛知、鹿児島冬の冬にんじんは終了。徳島は最初からそこそこ入荷量が多く、生育も良好。下旬にピークを迎える見通し。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

3月26日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	134,636	229	233	227	228	千葉 15%
	21年	133,230	233	251	227	224	茨城 14%
	22年	122,146	289	279	291	297	北海道 9%
	23年	133,267	210	215	213	204	愛知産 8%
	24年	122,775	250	270	249	231	(愛知産比率 8%)
	5ヵ年平均	129,211	241	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	131,000	210	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心となる。北海道からの土物類は終盤となる。今年は年末から2月までの寒さから、一転し3月に入っての好天と気温の上昇により、多くの作目で順調な生育となっている。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
だいこん	20年	10,661	83	78	89	80	千葉 62%
	21年	10,451	100	110	105	87	神奈川 8%
	22年	10,510	120	112	132	118	茨城 6%
	23年	11,781	72	74	78	62	鹿児島 2%
	24年	10,404	140	202	141	87	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	10,761	102	115	109	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,600	90	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。これまで遅れていたが3月の気温上昇もあり回復してきている。千葉は3月末から4月上旬にピークをむかえる。出荷量は前年比増が見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	20年	7,844	211	211	229	196	徳島 67%
	21年	7,745	142	137	143	147	千葉 8%
	22年	7,622	169	129	171	207	台湾 6%
	23年	7,712	188	202	193	171	中国 4%
	24年	6,538	176	159	192	173	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,492	177	168	186	179	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,900	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>徳島からの入荷が中心となる。徳島は地域により作柄に差異はあるが、前年に比べると順調な出荷が期待できる。今年は、前年と国産の出荷遅れ予想から輸入業者の集荷意欲も高い。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	2,367	93	102	94	83	茨城 34% 長崎 33% 熊本 13%
	21年	2,190	116	144	102	101	
	22年	2,227	112	111	109	116	
	23年	1,826	76	108	69	59	
	24年	1,747	98	126	104	68	
5ヵ年平均	2,071	100	118	96	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	1,800	87	100	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、長崎が中心。春系が主力となる見通し。生育良好で大玉傾向。貯蔵物の残量が多い。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	20年	3,695	83	87	76	87	愛知 89% 兵庫 4% 神奈川 3% 三重 2%
	21年	3,654	129	137	129	119	
	22年	3,371	153	133	184	146	
	23年	4,350	75	88	72	68	
	24年	4,244	110	108	115	117	
5ヵ年平均	3,863	108	109	113	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	4,000	100	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、神奈川、兵庫、三重。愛知は冬系の出荷が中心で大玉傾向。神奈川は生育遅れで病気発生もあり上旬は遅れている。生育順調な新キャベツが始まる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	20年	304	405	464	318	448	愛知 74% 岐阜 14% 茨城 5% 徳島 3%
	21年	364	413	511	357	387	
	22年	294	536	604	440	579	
	23年	343	336	407	328	325	
	24年	328	393	467	388	370	
5ヵ年平均	327	413	488	365	417	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
25年見通し	320	350	400	360	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に中下旬から岐阜産が出てくる。作柄は良好で順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	20年	5,718	89	106	89	71	茨城 84%
	21年	5,752	104	144	88	81	兵庫 7%
	22年	5,926	116	120	107	122	長崎 5%
	23年	6,700	54	83	52	32	千葉 2%
	24年	6,052	93	143	80	61	(愛知産比率 %)
	5ヵ年平均	6,030	90	119	83	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,500	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城は春はくさいに切り替わる。3月から気温も上がり生育順調できており、4月に入り増量してくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は5月約6000tから10月約14000tまで増加し、11月以降は減少傾向にあります。単価は5月約50円/kgから10月約100円/kgまで上昇し、その後変動しています。</p>					
キャベツ	20年	18,140	91	97	89	89	愛知 47%
	21年	18,258	122	145	117	105	神奈川 38%
	22年	15,377	167	149	192	162	千葉 10%
	23年	18,876	86	99	82	79	茨城 1%
	24年	16,690	131	142	133	119	(愛知産比率 47%)
	5ヵ年平均	17,468	117	126	123	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	17,500	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷に加え、神奈川からの入荷が多くなる。愛知は前月に引き続き生育、出荷とも安定。遅れていた神奈川、千葉も回復し順調な出荷が見込まれる。各産地とも月初めから順調出荷となる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は5月約18000tから10月約16000tまで減少傾向にあり、11月以降は増加傾向にあります。単価は5月約100円/kgから10月約120円/kgまで上昇し、その後変動しています。</p>					
ほうれんそう	20年	1,287	470	516	416	482	群馬 35%
	21年	1,427	424	553	360	383	茨城 22%
	22年	1,319	599	672	491	632	埼玉 19%
	23年	1,075	368	414	383	334	千葉 15%
	24年	1,239	413	428	422	385	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,269	458	517	414	443	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,250	380	380	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも日照量、気温等に恵まれ生育は順調に推移してきている。やや前進傾向の出荷となりその場合、一時的な谷間も予想される。 入荷量は前年並を見込み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は5月約1200tから10月約2400tまで増加し、11月以降は減少傾向にあります。単価は5月約400円/kgから10月約700円/kgまで上昇し、その後変動しています。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	20年	829	409	413	411	405	大分 26%
	21年	904	299	288	293	319	愛知 23%
	22年	894	420	372	407	481	鳥取 11%
	23年	880	301	315	301	308	静岡 9%
	24年	784	334	341	346	342	
ぎ	5カ年平均	858	352	345	351	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	850	330	330	330	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知の長ねぎと、大分、鳥取、静岡の白ねぎ。愛知からの入荷は8割方終了。大分は端境期だが昨年よりは順調な入荷。静岡は昨年よりは入荷量が少ない見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みの見込み。							
レ	20年	1,964	172	184	165	167	兵庫 55%
	21年	1,937	216	291	182	188	茨城 36%
	22年	1,741	300	308	291	301	愛知 4%
	23年	1,628	171	214	170	145	長野 2%
	24年	1,727	214	283	201	178	
ス	5カ年平均	1,799	214	255	201	196	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,800	190	200	190	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は兵庫の淡路、茨城中心で、他に愛知。兵庫、茨城は生育順調。2月の冷え込みで入荷量が少なかったが今後の気温上昇と日照時間増加とともに4月中旬から入荷量が増える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
き	20年	1,759	241	230	233	259	愛知 48%
	21年	1,909	216	271	197	190	宮崎 19%
	22年	2,316	221	166	233	276	群馬 12%
	23年	1,825	181	195	178	195	高知 11%
	24年	1,448	244	256	236	254	
り	5カ年平均	1,851	219	220	215	236	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,600	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心で他に高知、宮崎、群馬。作付面積は微減。各産地とも高値で動いた。4月からは関東産地出荷が増える見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

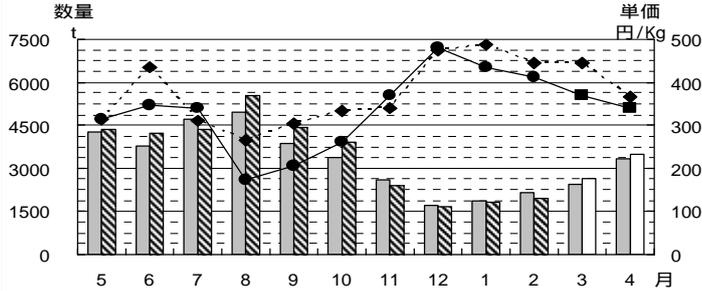
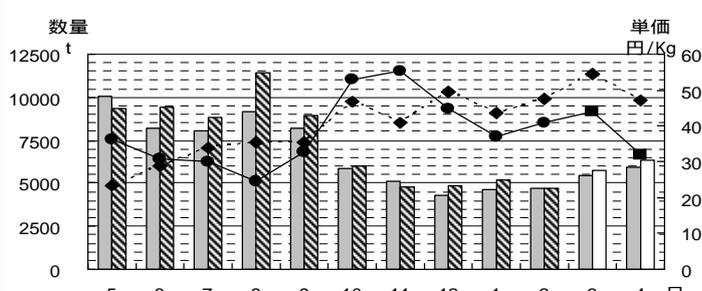
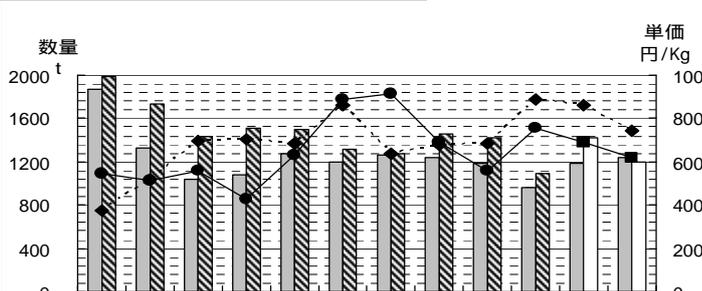
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ね	20年	4,142	366	356	387	356	千葉 47%	
	21年	4,252	189	181	162	226	埼玉 24%	
	22年	3,998	362	336	373	379	茨城 12%	
	23年	4,021	206	201	197	221	群馬 6%	
	24年	3,754	255	243	268	253	(愛知産比率 0%)	
ぎ	5ヵ年平均	4,033	275	263	277	287	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	3,800	240	230	240	250		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		前月に引き続き関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調だが、千葉が遅れが回復しきれていない。また、3月の気温高から現状、荷動きはあまり良くない。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。						
し た ス	20年	7,421	160	166	155	159	茨城 60%	
	21年	7,388	203	263	176	176	兵庫 18%	
	22年	6,466	296	296	292	300	香川 6%	
	23年	7,516	133	148	129	124	栃木 5%	
	24年	7,474	209	260	197	173	(愛知産比率 0%)	
ス	5ヵ年平均	7,253	198	227	190	186	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	7,700	150	150	150	150		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		茨城を中心に兵庫、香川、栃木からの入荷となる。各産地とも遅れが回復してきており、4月はやや前進傾向となる。中旬には兵庫の春作増量分の出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						
き ゆ う り	20年	6,673	263	246	260	283	埼玉 28%	
	21年	7,721	239	283	216	227	群馬 22%	
	22年	6,546	326	324	334	322	千葉 13%	
	23年	7,611	174	172	165	187	茨城 13%	
	24年	6,821	246	259	230	252	(愛知産比率 0%)	
り	5ヵ年平均	7,074	247	257	241	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	7,000	230	230	230	230		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/kg
		関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも、2月下旬までは低温による遅れがあったが、その後天候に恵まれ、日照量も多く、着果状況は良好。このままいけば順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

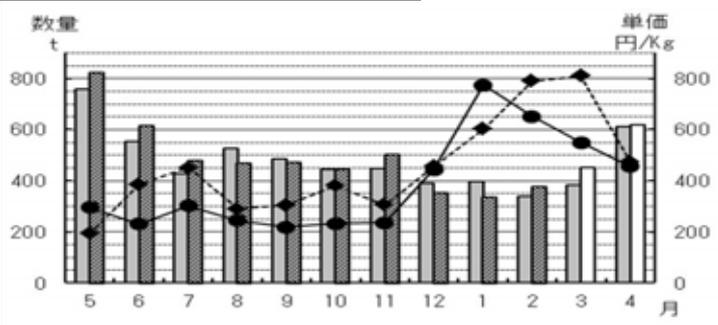
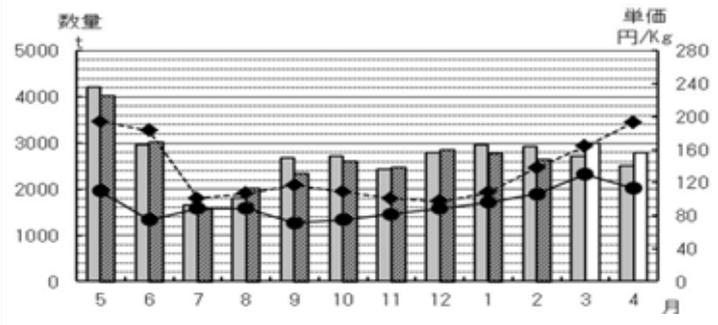
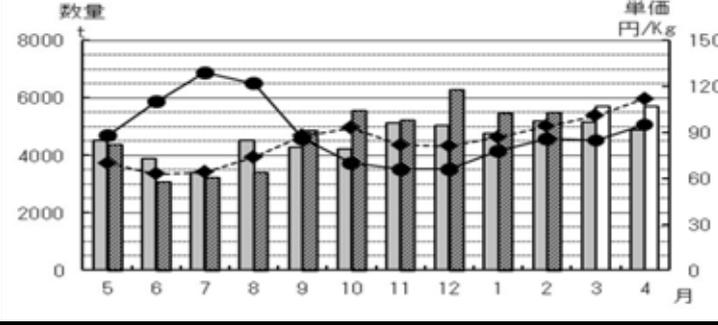
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	20年	1,139	276	279	256	292	熊本 54% 愛知 41% 高知 4% 宮崎 2%
	21年	995	301	311	309	284	
	22年	814	375	372	356	397	
	23年	1,159	251	247	245	270	
	24年	886	317	340	322	294	
	5ヵ年平均	999	299	304	292	303	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,100	300	330	300	280		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知の干両と熊本の長なす。作柄は良好。気候がよくなり日照時間が長くなれば出荷が増える見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
ト マ ト	20年	1,403	334	349	359	303	熊本 42% 愛知 31% 三重 14% 岐阜 9%
	21年	1,211	375	373	405	353	
	22年	1,121	417	436	426	389	
	23年	1,420	274	307	277	254	
	24年	1,112	455	486	451	432	
	5ヵ年平均	1,253	365	384	378	340	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,300	360	380	360	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知、熊本、三重、岐阜。2月の低温の影響による生育遅れで、数量不足。今後の気温上昇とともに4月後半に向けて入荷量が増加する見通し。小玉傾向。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ ト	20年	302	620	657	629	587	熊本 52% 愛知 37% 和歌山 9%
	21年	274	713	671	783	694	
	22年	309	733	701	736	763	
	23年	399	533	589	528	466	
	24年	329	752	713	755	778	
	5ヵ年平均	323	663	662	676	648	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	330	650	700	650	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は熊本、愛知中心で一部、和歌山。生育は良好。今後気温の上昇とともに需要も強くなり、荷動きがよくなる見込み。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
な す	20年	4,063	310	308	313	高知	53%	
	21年	3,733	345	345	331	福岡	21%	
	22年	2,797	454	432	466	熊本	8%	
	23年	3,821	310	295	308	佐賀	6%	
	24年	3,315	366	350	347	(愛知産比率 0%)		
	5ヵ年平均	3,546	351	366	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	25年見通し	3,500	340	350	330			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は気温上昇で順調な生育、着果状況も良い。その他の産地も樹の状態が良く、このままいけば潤沢な出荷が期待できる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
								
ト マ ト	20年	6,794	378	413	396	337	栃木	26%
	21年	6,320	421	434	439	394	熊本	21%
	22年	5,609	467	484	488	434	愛知	12%
	23年	7,580	301	324	307	281	埼玉	6%
	24年	5,928	472	502	466	446	(愛知産比率 12%)	
	5ヵ年平均	6,446	401	431	419	378	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	6,300	320	330	320	310		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木、熊本、愛知を中心に全国各地、入り乱れての入荷となる。西南暖地は3月前半で着果の少ない段が終了し、4月は多い段の出荷となる。関東産についても着果量、玉伸びもよく順調な出荷が見込まれる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高値で推移した前年を大幅に下回る見込み。</p>						
								
ミ ニ ト マ ト	20年	1,115	602	627	600	584	熊本	33%
	21年	1,016	679	658	721	661	愛知	27%
	22年	1,068	723	684	724	759	千葉	10%
	23年	1,532	475	542	480	430	宮崎	9%
	24年	1,239	743	711	758	763	(愛知産比率 27%)	
	5ヵ年平均	1,194	633	644	657	639	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	25年見通し	1,200	620	650	610	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。各産地1～2月の冷え込みが影響し、上旬まではやや少なめの出荷で、中旬以降出荷のピークをむかえる。入荷量は平年並で、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。</p>						
								

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	646	365	341	346	410	宮崎 46%
	21年	601	499	512	511	475	鹿児島 36%
	22年	518	637	614	601	716	高知 16%
	23年	708	322	368	344	300	
	24年	610	473	559	446	449	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	616	448	470	440	457	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	620	455	500	450	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は西南暖地中心の、宮崎、鹿児島。高知が少々。3月は相場がよく、今後の気温上昇と日照時間増加で入荷量は増えるが販売苦戦の見込み。 入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。					
ばれいしょ	20年	3,064	159	138	168	170	鹿児島 74%
	21年	3,535	152	164	155	140	北海道 24%
	22年	2,753	222	200	236	231	長崎 1%
	23年	2,633	266	296	296	234	
	24年	2,504	193	174	208	219	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	2,898	195	191	208	194	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,800	113	110	110	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は鹿児島、北海道中心。鹿児島は大島の残量と本土もの。北海道の残量は多め。長崎は4月20日ごろから入荷予定。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	20年	5,878	73	77	74	68	北海道 61%
	21年	6,781	78	87	81	69	愛知 26%
	22年	6,091	104	105	105	103	静岡 3%
	23年	4,871	115	127	119	114	NZ 3%
	24年	4,899	112	112	125	113	
ねぎ	5カ年平均	5,704	95	100	99	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,700	95	100	95	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道の貯蔵ものと、新玉ねぎの愛知が中心。、次いで熊本、静岡。北海道の残量は中旬から下旬に終了予定。愛知はネット販売が始まり、量は増える見込み。天候が良ければ平年並みの出荷見込み。 入荷量は前年大幅に上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
ピーマン	20年	2,215	451	417	410	515	茨城 56%
	21年	2,148	513	546	534	466	宮崎 18%
	22年	1,808	672	669	616	728	高知 16%
	23年	2,283	310	344	320	273	鹿児島 9%
	24年	1,927	479	525	450	462	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	2,076	477	500	466	489	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,000	430	450	430	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城中心に、西南暖地からの入荷となる。3月に入ってからの暖かさなどにより樹の状態、着果状況ともに良好。今後の天候次第であるが、現況が続けば潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	9,961	122	109	125	132	北海道 56%
	21年	9,342	140	134	147	139	鹿児島 40%
	22年	8,525	193	171	200	209	長崎 3%
	23年	8,485	226	223	244	213	(愛知産比率 0%)
	24年	8,685	160	147	166	169	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	9,000	166	157	176	172	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,400	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島からの入荷が本格化し、北海道の貯蔵ものは終盤となる。鹿児島の生育は作付増がある中で平年作ということで潤沢な出荷が見込まれる。一方、北海道は発芽リスク高い状態で荷動きが鈍い。 関東へ集約出荷する動きもあり、入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	14,174	81	88	83	73	北海道 49%
	21年	13,446	92	98	88	91	佐賀 32%
	22年	12,118	136	138	133	136	NZ 4%
	23年	12,027	122	132	128	107	長崎 4%
	24年	11,240	119	118	123	115	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5カ年平均	12,601	109	115	111	104	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	13,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道の貯蔵ものが終盤になり佐賀からの新玉ねぎの入荷が本格化する。北海道の貯蔵量が潤沢にある中、九州も生育も順調で作付増もあり前年を上回る出荷が見込まれる。 全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	20年	10,734	324	330	328	314	フィリピン 26%
	21年	10,147	306	303	305	311	熊本 16%
	22年	9,755	315	318	305	322	青森 10%
	23年	9,542	324	326	328	325	愛知 10%
	24年	7,816	353	358	336	363	
	5カ年平均	9,599	323	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,600	270	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>柑橘、りんごは昨年秋に気温が高かったことが影響し、小玉傾向。すいかは気候が良いため日照時間も長く順調な生育で大玉傾向。キウイフルーツは4月中旬から輸入が増える。</p> <p>入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
いちご	20年	1,399	711	824	683	625	愛知 57%
	21年	1,306	679	710	629	700	熊本 22%
	22年	1,178	726	766	652	762	鹿児島 6%
	23年	1,324	742	773	690	788	佐賀 6%
	24年	1,231	729	708	718	782	
	5カ年平均	1,288	717	758	675	729	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,250	730	730	700	780	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知、熊本中心。3月から4月上中旬までがピーク。下旬に減少する。3月に入ってから気温上昇で廃棄処分になる可能性も心配されるが例年並みの気候であれば生育順調。天候次第。</p> <p>入荷量は前年並み、価格は前年並みの見込み。</p>							
その他メロン (アールスメロンを除く)	20年	582	383	403	416	360	熊本 52%
	21年	589	315	221	310	362	メキシコ 33%
	22年	335	493	545	530	466	NZ 6%
	23年	583	293	270	298	338	
	24年	276	387	422	374	460	
	5カ年平均	473	360	347	372	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	330	370	450	400	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は熊本中心で、他に鹿児島、メキシコ。悪かった昨年に比べ着果順調で大玉傾向。作付面積は減少している。</p> <p>入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	32,698	359	374	356	348	フィリピン 15%
	21年	34,295	328	332	327	324	熊本 13%
	22年	32,435	337	342	334	336	青森 13%
	23年	31,044	357	359	355	356	愛媛 13%
	24年	26,660	386	390	379	389	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	31,426	352	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	28,000	360	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。中晩柑は小玉中心で食味は良い。すいか類は低温で生育遅れたが、M、Lサイズで肥大は進んでいる。マンゴー価格が高騰したた昨年と違い平年並み。総入荷量はやや増加し、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					
い ち ご	20年	5,488	780	876	746	707	栃木 30%
	21年	5,209	711	767	643	730	福岡 22%
	22年	4,730	773	814	722	780	佐賀 13%
	23年	5,521	751	785	704	779	茨城 12%
	24年	5,129	762	733	760	819	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	5,215	755	796	715	762	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,000	730	710	730	750	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。栃木は生育が遅れていたが、回復しつつある。3番果のばらつきがあり、やや小玉傾向。福岡は上旬に3番果のピークを迎える。佐賀は果房が連続し、谷のない出荷となる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>					
ア ン デ ス メ ロ ン	20年	334	524	676	586	454	熊本 91%
	21年	291	555	677	601	510	茨城 9%
	22年	280	562	712	618	503	
	23年	336	493	617	552	454	
	24年	169	589	700	582	547	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	282	538	672	587	486	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	245	500	570	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に入荷する、下旬から茨城が加わる。熊本は、2L、LAサイズと肥大が進んでおり、中旬から増量し、下旬にピークとなる。後続産地の茨城も順調な出荷が見込まれる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。</p>					

# 切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	20年	2,430	50	
		21年	2,412	47	
		22年	2,346	54	
		23年	1,917	42	
		24年	1,781	61	
	5ヶ年平均	2,385	48		
25年見通し	1,850	50			
概要	愛知、三重、沖縄を中心に入荷。燃油高で生産は多くなく、上旬は少なめ、中旬には沖縄から年末の返し及び植替え分で多少増加すると思われる。一般需要は少ない時期なため、業務の動き次第だが相場展開はやや重めか。				
小 ぎ	実績	20年	1,614	23	
		21年	1,650	23	
		22年	1,211	30	
		23年	1,062	35	
		24年	1,249	27	
	5ヶ年平均	1,404	27		
25年見通し	1,300	25			
概要	沖縄中心に入荷。3月下旬は彼岸相場低迷により出荷調整が行われているが、4月に入れば順次通常出荷に戻る。中旬からは12月の返しや植え直し出荷も始まり、量的に増加するため、相場は軟調傾向と思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	20年	1,426	37	
		21年	1,466	37	
		22年	1,974	48	
		23年	1,321	38	
		24年	1,476	38	
	5ヶ年平均	1,541	41		
25年見通し	1,500	38			
概要	愛知、長野、和歌山を中心に入荷。今年は3月に暖かくなるのが早く、早い段階から出荷が増えてきたので、4月からは量的に落ち着き、だらだらとした出荷となり、単価はそこに落ち着くかと思われる。				
か す み	実績	20年	224	74	
		21年	217	72	
		22年	243	89	
		23年	215	70	
		24年	190	81	
	5ヶ年平均	227	78		
25年見通し	200	80			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。やや少なめの入荷で、業務中心の動きとなる。前半は入学式等の行事により下位から上位まで動きがよく、相場も安定すると思われるが、中旬以降は入荷次第で、相場変動する。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	20年	366	168	
		21年	349	167	
		22年	377	194	
		23年	302	181	
		24年	342	171	
	5ヶ年平均		348	184	
	25年見通し		350	170	
概要	高知、埼玉、静岡、岐阜等から入荷。OHは数量やや多め、鉄砲、LAは少なめの入荷。前半は入学式などの行事もあり、動きは良さそう。中旬以降は入荷次第で相場が崩れる可能性がある。				
洋らん	実績	20年	390	82	
		21年	346	81	
		22年	488	156	
		23年	392	77	
		24年	401	87	
	5ヶ年平均		399	101	
	25年見通し		420	85	
概要	愛知、徳島、静岡、鹿児島等の他輸入物が入荷。シビシムは国産が主で量は一段落し、胡蝶蘭はもう少し多い状況が続くそう。デソアルは若干入荷は少なめで、堅調な市況で推移しそう。				
ばら	実績	20年	1,118	63	
		21年	1,062	66	
		22年	1,163	76	
		23年	967	70	
		24年	911	70	
	5ヶ年平均		1,083	69	
	25年見通し		1,000	67	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。高冷地も出荷が始まり、入荷、品種に幅が出てくると思われる。輸入品も終わるため、出荷量は一時的に少なくなるが、中旬以降は母の日に向けて安定入荷できるだろう。				
枝も	実績	20年	1,450	41	
		21年	1,309	40	
		22年	684	63	
		23年	1,742	39	
		24年	1,676	42	
	5ヶ年平均		1,341	43	
	25年見通し		1,700	42	
概要	長野、静岡、岐阜中心に入荷。山取りの芽吹き物が出荷始まる。前半は入社、入学式等のイベント需要で引合いは強まるが、後半は重たい。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラシ	実績	20年	26,966	531	
		21年	36,572	542	
		22年	33,070	515	
		23年	55,189	470	
		24年	38,494	662	
	5ヶ年平均		38,058	539	
	25年見通し		37,000	600	
概要	<p>入荷量は生産減のため減少か。4号鉢は増加し、5号鉢は減少か。下旬頃から需要が増加し、相場は安定か。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(39.3%)、2位埼玉(25.3%)、3位長野(19.3%)となっている。</p>				
ファレスノブシ	実績	20年	49,679	2,444	
		21年	57,869	2,312	
		22年	60,099	2,399	
		23年	55,625	2,111	
		24年	48,888	2,696	
	5ヶ年平均		54,432	2,383	
	25年見通し		49,000	2,300	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4月は平均単価が上がるので、大輪系は上旬に沢山出荷していただけをお願いしたい。ミディー系はゴールデンウィーク、母の日商材に入ってくるので上旬と下旬を目安に出荷を望む。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(57.1%)、2位静岡(6.7%)、3位宮崎(6.0%)となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	20年	85,226	265	
		21年	117,031	254	
		22年	102,606	295	
		23年	106,039	274	
		24年	89,476	259	
	5ヶ年平均		100,076	269	
	25年見通し		90,000	260	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4月後半にかけて特に4寸の需要が増加しそう。但し、生産量の減少とともに2月の冷え込み等の不安要素は有り。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(51.7%)、2位愛知(36.8%)、3位愛媛(4.1%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロジャン	実績	21年	91,276	659	
		22年	182,620	620	
		23年	173,363	636	
		24年	194,219	626	
		25年	199,070	608	
	5ヶ年平均		168,110	626	
	24年見通し		190,000	600	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様に品種の偏り等の要素を含め、色別での注文対応が厳しい見込み。                      昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(78.1%)、2位群馬(4.9%)、3位三重(4.3%)となっている。</p>				
スパティ	実績	20年	42,136	332	
		21年	44,724	310	
		22年	32,431	384	
		23年	30,251	364	
		24年	25,217	436	
	5ヶ年平均		34,952	357	
	24年見通し		25,000	400	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。前年同様に5号鉢以上は減少の見込み。苗ポットは増加傾向にあり、母の日前は3号が寄せカゴの需要で引き合いが強くなる。5号鉢以上はいかに花の立数を上げるかが生産者の腕の見せ所である。                      昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜(31.0%)、2位三重(27.4%)、3位愛知(25.1%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	20年	85,194	288	
		21年	143,710	350	
		22年	134,404	376	
		23年	185,369	328	
		24年	73,779	345	
	5ヶ年平均		124,491	340	
	25年見通し		80,000	300	
概要	<p>入荷量は昨年並か。2月の低温・日照不足、また重油の高騰による出荷遅れが不安材料。                      昨年同様、母の日が遅いので、この日の相場は昨年並みとなりそう。                      昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(35.9%)、2位茨城(13.8%)、3位福島(10.9%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

## 1 輸入実績

品名	1 月						1 月 まで の 累 計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	62,156	81.7	7,774,849	118.2	125	144.7	62,156	82	7,774,849	118	125	145
トマト	494	207.8	203,895	251.7	412	121.1	494	208	203,895	252	412	121
たまねぎ	20,114	69.1	1,373,969	155.8	68	225.6	20,114	69	1,373,969	156	68	226
にんにく	1,557	91.8	310,913	175.2	200	190.9	1,557	92	310,913	175	200	191
ねぎ	4,601	105.3	487,348	111.0	106	105.4	4,601	105	487,348	111	106	105
ブロッコリー	3,323	97.8	582,600	108.6	175	111.1	3,323	98	582,600	109	175	111
結球キャベツ	3,778	102.0	147,456	142.4	39	139.6	3,778	102	147,456	142	39	140
にんじん・かぶ	4,358	80.8	191,594	116.8	44	144.6	4,358	81	191,594	117	44	145
ごぼう	4,128	101.8	188,589	97.5	46	95.8	4,128	102	188,589	98	46	96
えんどう	255	87.0	92,211	98.8	362	113.6	255	87	92,211	99	362	114
アスパラガス	695	48.5	542,875	69.9	781	144.2	695	48	542,875	70	781	144
まつたけ	2	-	4,797	-	2,866	-	2	-	4,797	-	2,866	-
しいたけ	710	78.1	225,081	97.2	317	124.5	710	78	225,081	97	317	124
かぼちゃ	10,307	65.7	867,948	88.6	84	134.9	10,307	66	867,948	89	84	135
果実(生鮮・乾燥)	123,976	97.7	15,565,438	122.9	126	125.8	123,976	98	15,565,438	123	126	126
バナナ	71,176	92.1	4,884,833	117.1	69	127.1	71,176	92	4,884,833	117	69	127
パイナップル	12,161	120.4	678,243	123.3	56	102.4	12,161	120	678,243	123	56	102
レモン	3,193	72.3	381,188	73.6	119	101.7	3,193	72	381,188	74	119	102
オレンジ	6,420	93.9	709,168	110.4	110	117.6	6,420	94	709,168	110	110	118
グレープフルーツ	12,223	95.4	1,354,651	113.8	111	119.3	12,223	95	1,354,651	114	111	119
メロン	1,873	168.8	199,987	165.0	107	97.7	1,873	169	199,987	165	107	98
ぶどう	424	110.2	109,203	101.4	258	92.0	424	110	109,203	101	258	92
キウイ	243	357.3	57,463	524.4	237	146.8	243	357	57,463	524	237	147
いちご	4	28.8	4,641	42.8	1,143	148.3	4	29	4,641	43	1,143	148
切花(生鮮・乾燥)	3,267	108.5	2,606,794	112.3	798	103.5	3,267	108	2,606,794	112	798	103
鳥獣肉類	138,539	94.1	61,750,634	97.2	446	103.3	138,539	94	61,750,634	97	446	103
牛肉(くず肉含む)	34,468	92.6	15,836,432	110.0	459	118.7	34,468	93	15,836,432	110	459	119
豚肉(くず肉含む)	62,031	90.2	32,631,019	90.4	526	100.3	62,031	90	32,631,019	90	526	100
鶏肉	35,727	102.1	8,908,055	96.6	249	94.5	35,727	102	8,908,055	97	249	95
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	152,453	92.1	77,406,258	89.2	508	96.8	152,453	92	77,406,258	89	508	97
まぐろ類	15,389	96.3	11,448,816	88.3	744	91.6	15,389	96	11,448,816	88	744	92
さば・さんま・あじ・いわし	13,240	81.6	2,167,018	74.5	164	91.3	13,240	82	2,167,018	74	164	91

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	5,178	631.7	1,904,107	445.0	368	70.4	5,178	632	1,904,107	445	368	70
うんしゅうみかん	93	156.9	47,381	121.3	507	77.3	93	157	47,381	121	507	77
りんご	4,911	708.9	1,704,141	578.4	347	81.6	4,911	709	1,704,141	578	347	82
なし	17	327.3	8,766	378.5	506	115.6	17	327	8,766	378	506	116
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	228,470	209.3	-	-	-	-	228,470	209	-	-
緑茶	145	102.5	377,762	125.4	2,607	122.3	145	103	377,762	125	2,607	122

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

年 月		消費者物価指数 <span style="font-size: small;">(全国 平成22年 = 100)</span> <span style="font-size: x-small;">(愛知県 平成22年 = 100)</span>				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
全 国	23年平均	99.7	96.8	100.6	99.9	100.4
	24年 9月	99.6	86.9	95.0	99.1	100.6
	10月	99.6	90.5	91.3	98.3	101.1
	11月	99.2	88.0	90.8	98.3	100.2
	12月	99.3	92.8	98.5	98.2	100.7
	25年 1月	99.3	105.4	112.6	98.3	101.0
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 9月	99.4	88.0	93.6	98.3	99.3
	10月	99.4	92.9	91.2	95.6	101.0
	11月	99.0	91.1	92.0	95.5	100.5
	12月	99.1	94.8	100.5	95.1	101.3
	25年 1月	99.0	106.2	118.5	98.5	100.0

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
23年平均		97.6	93.3	95.3	99.9	101.9
24年 9月		91.9	107.2	72.5	85.5	101.9
10月		92.3	112.2	82.6	60.2	101.3
11月		97.6	112.8	87.8	86.8	101.3
12月		110.6	114.0	123.5	106.7	104.5
25年 1月		110.5	114.2	124.9	108.3	101.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単 位	うるち 米 <small>(単一品種、 「コシ加」 以外)</small>	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りん ご (ふ じ)
		5 kg	1 kg										100g	1kg
23年平均		1,872	148	188	665	432	342	148	352	242	542	603	172	490
24年 9月		2,131	85	136	609	309	290	127	313	241	448	594	167	
10月		2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
11月		2,209	88	122	585	364	284	128	298	208	584	759	174	437
12月		2,191	104	128	553	566	247	130	302	198	644	706	158	442
25年 1月		2,191	149	155	684	802	273	156	314	208	765	693	211	476
年 月	品目 単 位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	パ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉 (ロ ー ス)	牛 肉 (ロ ー ス)	ま ぐ ろ
		1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
23年平均		552	286	376	146	223	771	540	151	164	299	222	818	416
24年 9月		570	269	343		196	751	528	149	177	292	227	811	360
10月		513	286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375
11月		529	288	334		211	818	528	149	167	296	211	776	398
12月		492	305	344	207	206	831	529	145	172	316	224	730	400
25年 1月		630	329	370	187	209	755	531	154	175	314	217	824	378

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 478  
平成25年4月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421